

ACERT™
Technology

新世代環境対応型エンジン搭載

330D
330D L

油圧ショベル

CAT®

REGA

- 運転質量：33,500kg (330D GLZ-T7)
34,500kg (330D L GLZ-T7)
- 標準バケット容量：1.4m³ (旧JIS 1.2m³) (330D GLZ-T7)
1.5m³ (旧JIS 1.3m³) (330D L GLZ-T7)
- エンジン定格出力：200kW (272PS)

特定特殊自動車排出ガス基準適合車

国土交通省低騒音型建設機械

ECO
エコノミー&エコロジー
ECO



その先の技術へ・・・。
 次代のあるべき姿がある。
 生産性に、コスト低減に、そして環境対応に
 時代が求める性能を搭載して
 新たなる進化を遂げた
 CAT 330D/330D L 油圧ショベル。

生産性のあくなき追求

低燃費に磨きをかけた **CATパワーシステム**

ハイレベルな環境性能の実現

新世代環境技術「**ACERT™** テクノロジー」

高耐久という優れた価値

長期安定稼働を追求した **強靱な機体構造**

先進の安全性

一步先を考えた充実の **安全装備**

オペレータ環境の向上

より快適で使いやすい **オペレータステーション**

イージーメンテナンスという信頼

手間もコストも低減する **メンテナンスサポート**

機械情報が常にある安心

安心サポートの **Product Link Japan**

作業ニーズをとらえる専用設計

多彩な現場にマッチする **アプリケーション対応機**



ECO
 エコノミー & エコロジー
ECO
330D/330D L
 油圧ショベル



特定特殊自動車
 排出ガス基準適合車



国土交通省
 低騒音型建設機械

粘りが違うパワフルCAT C9 ACERT™ エンジン

新世代環境技術、ACERTテクノロジー採用。



定格出力 200kW (272PS)
/ 1,800min⁻¹ (1,800rpm) **9% UP** 当社従来機比

作業効率で差がでるエンジン・油圧制御技術

アンダースピードコントロール → **高効率＋高出力**

エンジン出力のほぼ100%を油圧出力として利用可能

全馬力制御 → **作業スピードアップ**

エンジン出力の100%をそれぞれのポンプが単独で吸収可能

ブーム／アーム エネルギー再生回路 → **省エネ＋作業スピードアップ**

ブーム／アームの戻り油を有効利用

高性能 リリーフバルブ → **掘削性能アップ**

リリーフ圧付近での馬力ロスを大幅に低減

大型コントロールバルブと大口径配管 → **高効率**

スムーズな操作性で、意のままにコントロール スマートワークシステム

- 速いブーム上げが必要な作業
- 掘削深さが深く旋回角の小さい作業

モード切替
不要

ブーム優先

旋回優先



操作レバーで
思い通りに
油圧パワーを
最適配分

- 旋回のパワーを必要とする作業
- 溝掘削時の壁面仕上げ

燃料生産性が飛躍的に向上 バリエابلパワーモード(VPM)搭載 **New**

3つのパワーモード選択が可能なバリエابلパワーモード(VPM)を新採用。モニタ上で容易に切替ができ、作業に合った最適なエンジン回転とポンプトルクの設定により低燃費で高い生産性を実現します。

ハイパワーモード	スタンダードモード	エコノミーモード
アクセルダイヤル10使用時 作業量 9% アップ!	従来の通常モードでの同作業量時 燃費 7% カット!	従来のエコノミーモードでの同作業量時 燃費 4% カット!

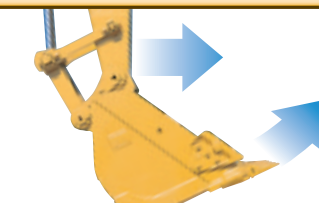
※当社従来機とのテスト結果によるもので作業内容、現場条件により異なる場合があります。

省エネ、騒音低減、電子制御可変スピードファン

エンジン冷却ファンに油圧モータ駆動の可変スピードファンを採用。低温時の過冷却やファンによる消費馬力を抑えると同時に騒音の低減も図っています。



現場を選ばぬパワーバランス、強力な掘削力



アーム掘削力
169 kN (17.3tonf)
バケット掘削力
222 kN (22.7tonf)

傾斜地・不整地での走行もパワフル

けん引力を強化。傾斜地や不整地での力強い走行が可能です。



10種類のアタッチメント流量をプリセット アタッチメント対応力アップ

- アタッチメントモード採用
キャブ内のフルグラフィックモニタで10種の流量設定が可能
アタッチメントベダルの操作であらかじめセットした流量で作動
ブレーキ作業時には、負荷にかかわらず打撃速度を一定にキープ



- 容易な共用配管の回路選択
あらかじめセットした流量設定を選択するだけで単動／復動、1ポンプ／2ポンプの切替が可能です。

CATの新世代環境対応型エンジン

ACERT™ Technology

新世代環境対応型エンジン搭載

ACERT™ (アサート) Technology Advanced Combustion Emission Reduction Technology

排気を吸気に一切戻さずクリーンな空気だけをシリンダ内に供給し、電子制御により最適な量の燃料を最適な条件で噴射して、燃焼させることで排出ガスを飛躍的にクリーンにする最先端技術です。

CAT電子制御システム

新開発ADEM 4

- 超高速の処理速度と大容量のメモリで燃料の噴射量、タイミングをコントロール。
- コントローラは窒素ガス封入で安定した制御を維持。



- 1回の燃焼で多段噴射が可能
- 1000万通りの噴射パターン
- CAT独自の技術の応用による高い信頼性
- オフロード法*排出ガス基準に適合

※ オフロード法…特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律

◆米国EPA/欧州EUの排出ガス規制適合証は貼っていません。

排気システム

アフタートリートメント(酸化触媒装置)

- 触媒により排出ガス成分をマフラー内で分解。
- ステンレス製で長寿命。
- メンテナンスフリー



吸気システム

ウェストゲートターボチャージャー

- エンジンの負荷と回転数に合わせ吸気量をコントロール。より完全に近い燃焼が可能。

空冷式アフタークーラ

- 吸気温度を下げて、より適正量を燃焼室に供給可能。完全燃焼と排出ガスの清浄化を両立。



燃料噴射システム

- 定着した技術HEUI*
- 最大2,000気圧の超高压噴射で低燃費。
- 多段噴射で排気ガス成分を低減。

*HEUI: Hydraulic Electronic Unit Injection

注) 各コンポーネントの写真はイメージです。



油圧機器の信頼性アップ 標準装備の高性能カプセルフィルタ

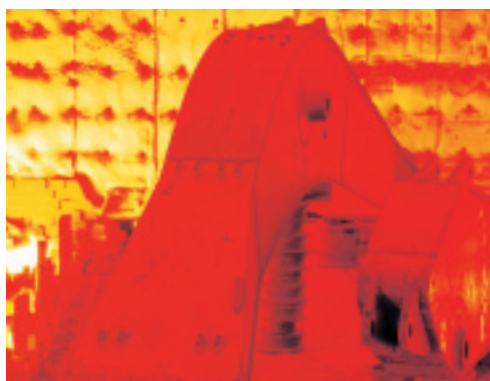


作動油の浄化により油圧機器の信頼性を高めるとともに、カートリッジごとの容易な交換で汚れた油も滴れず環境に影響を与えません。

フィルタ
エレメント **6** ※ミクロン
μm

※エレメントのろ過精度の公称値を示す。

ひとクラス上の剛性構造、強靱なフロント部



入念な再熱処理
(焼鈍)により
疲労寿命を倍増

大断面構造で
剛性アップ

内部に設置した
バッフルプレート
(補強材)で
高強度を実現

細部のパーツにもCATのこだわり 信頼性を高めた油圧・電子制御系

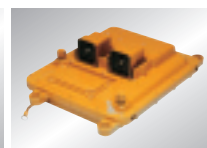
電子制御系



金メッキ仕上げの
コネクタターミナル



防水性、耐振性にすぐれた
AMPシールコネクタ



窒素ガス封入の
エンジンコントローラ

油水系

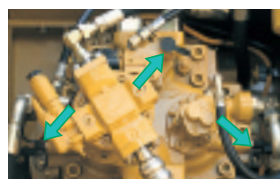


油漏れ防止効果の高い
Oリングフェイスシール
(ORFS) 継手



接続部の弛みを防ぐ
コンスタントトルククランプ

素早いサービス点検、随所に設置した 圧力検出タップとオイルサンプリングバルブ



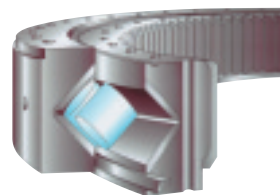
ポンプなど各所に設置された
圧力検出タップ



作動油およびエンジンオイルチェックが
容易なSOSサンプリングバルブ



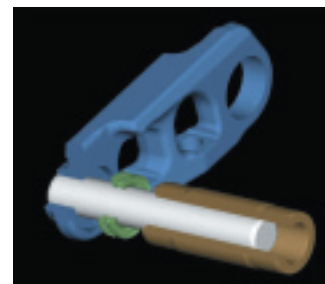
長期にわたり高い旋回性能を維持 クロスローラベアリング



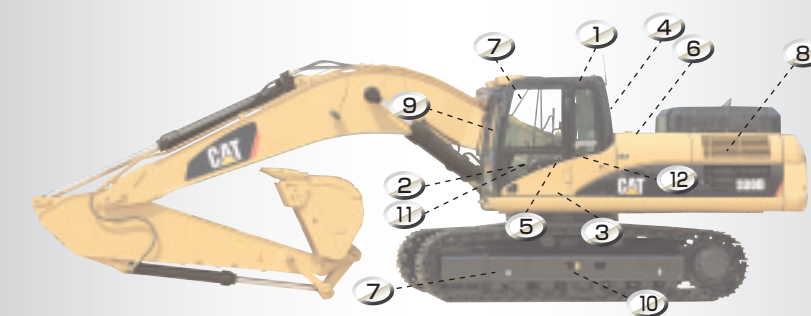
円筒形のローラを縦横に組み合わせたクロスローラベアリングを採用。縦方向のガタを低減し、長期にわたってスムーズな旋回性を維持します。

足回りの耐久性向上 グリス封入式トラック

トラックリンクにはグリス封入式トラック (GLT2) を採用。シール性が高く、グリスの保持性に優れており、長寿命と騒音の低減を両立しています。



一歩先を考えた安全装備



1 FOGS直付け可能なヘッドガードキャブ

労働安全衛生法のヘッドガード規格適合

フロントガードおよびトップガードをオプションで用意。
(いずれも ISO 10262適合)

2 全作業機をロックする油圧ロックレバー

ロックオフ ロックオン

3 万が一に備えたエンジン非常停止スイッチ

4 容易に開放可能な後方脱出窓

5 調整不要の巻き込み式シートベルト

6 スリップおよびつまずき防止効果抜群のスタッドプレート

7 ISO規格に準拠。大型ハンドル&ステップ

8 エンジンとポンプを隔離するファイアウォール

9 割れても飛散しにくい3層構造のラミネートフロントガラス

10 トラック張り調整の安全性を高める2ブレードトラックアジャスタ

11 油圧ロック時にしかエンジンが始動しないエンジンニュートラルスタート機構

12 電子系のトラブル時も安心なバックアップスイッチ



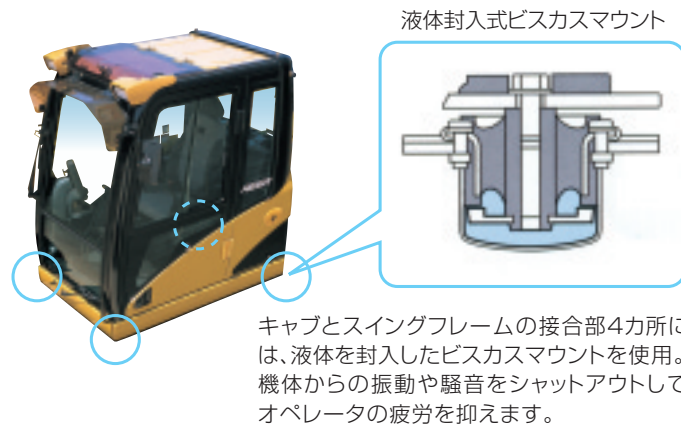


ワイドな視界 ゆとりを生む操作空間



異形鋼管フレームにより、FOGS（落下物保護構造）直付けを可能にする高い強度とワイドな視界を実現。ワイドなキャブ幅に加え、スリムな新型フルグラフィックカラーモニタにより広い足元スペースを確保しました。

低振動・低騒音 静かで疲れないキャブデザイン



ほこりを防ぐプレッシャライザキャブ (ISO適合)

エアコンを外気導入に切替えることにより、ほこりの侵入を防ぐプレッシャライザ（加圧密閉式）キャブになります。

クラス初※の疲労を軽減する シートヒータ付エアサスペンションシート



ライト&ダークグレーのツートンカラーと落ち着いた色調の新型エアサスペンションシートを標準装備。クッション硬さや体重調節などオペレータに最適なシートアレンジが可能です。また、静電気帯電防止加工により、静電気による不快感を払拭しました。

体重調整範囲 **50~150kg** 最大リクライニング角 **72度** （ヘッドレストなし、ラージボックスカバーなしの場合）

※30~35トンクラス油圧ショベル（当社調べ）

四季を通じて快適な空間を提供する 頭寒足熱機能付き大容量フルオートエアコン

温度センサによりキャブ内の状況に応じて最適な吹き出し口の選択や、温度、風量を自動制御します。

冷房能力 **5,000kcal** 暖房能力 **6,000kcal**

※ユニット単体の能力を示す。



マシンチェック、アタッチメント設定など総ての機械情報を集約。 新開発、フルグラフィックカラーモニタ

5.8インチ
カラーTFT液晶採用



通常作業画面



メインメニュー画面



メンテナンス情報画面

通常画面

- 1 通常作業画面表示**
時刻、アクセルダイヤル位置、燃料レベル、作動油温、冷却水温および、基本情報を文字や記号で表示。
- 2 異常警告画面表示**
機械に異常が発生すると発生中の異常内容が画面に文字で表示され、警報ランプ&ブザーとともにオペレータに警告。

サービス画面

- 1 ユーザ設定**
各種モニタの設定。
- 2 メンテナンス情報**
フィルタやオイルの情報および交換時期の警告。
- 3 機械情報**
エンジン回転数、各油圧機器の状態をリアルタイムに表示。
- 4 サービスモード**
主に使用アタッチメントの流量設定。

油水レベルオートチェック機能

始業時の油水量のチェックおよび不足時の警告。

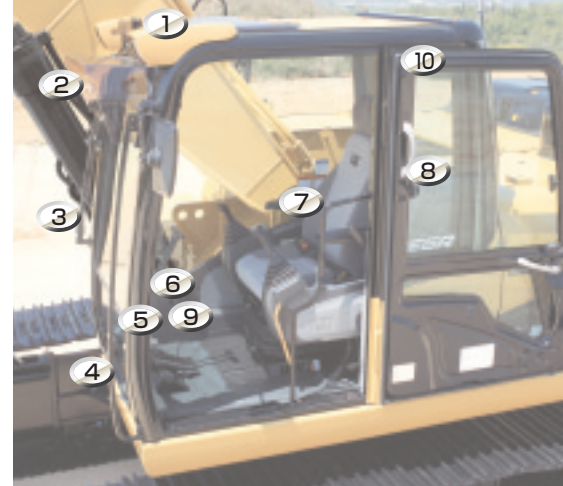
用途が広がる 映像表示機能付き

カメラ（市販品）を併用して作業や周囲の状況のモニタリングに使用できます。



※画面はハメコミ画像です

細部にこだわった標準装備



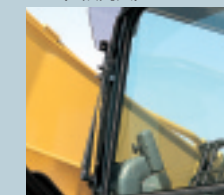
1 残光機能付
キャブライト



2 レインプロテクタ



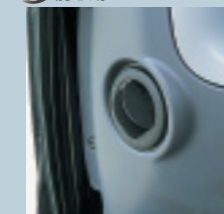
3 ピラーマウントワイパ
（2段階間欠）



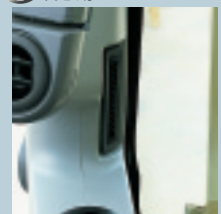
4 ロアワイパ



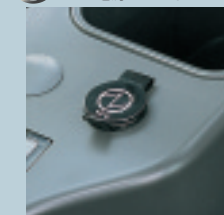
5 前窓用デフロスタ



6 右窓用デフロスタ



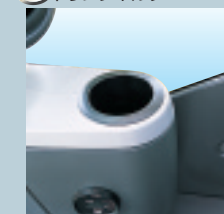
7 12V電源ソケット



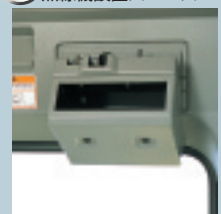
8 ラージボックス



9 ドリンクホルダ



10 無線機設置スペース



▶ イージーメンテナンスという信頼

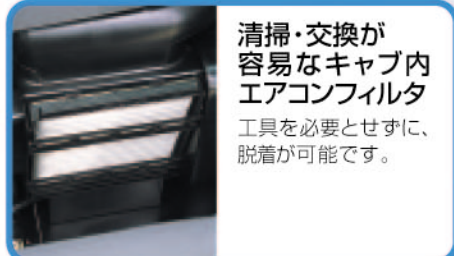
手間もコストも削減する
メンテナンスサポート



**開閉容易な
エンジンフード**
エンジンの点検箇所
を効率よく集中化。
エンジンフードも
アシスト付で開閉が
ラクで安全です。



**油圧機器の
日常点検箇所
を集中**
油圧ポンプ回りに
ドレンフィルタ、パイ
ロットフィルタなど
をまとめています。



**清掃・交換が
容易なキャブ内
エアコンフィルタ**
工具を必要とせずに、
脱着が可能です。



**エンジンの
信頼性を高める、
エアフィルタ**
ラジアルシール式エアフィルタ
をダブルで使用しています。
また、目詰まり発生時はモニタ
に警告が表示されます。



**清掃が容易な
ラジエータ**
ラジエータとオイルクーラを並列
に並べたサイドバイサイドクー
リングパッケージを採用。アフタ
ークーラとの十分なクリアランス
(約100mm)を確保し、目詰りの
清掃も容易になりました。

メンテナンス間隔延長 ランニングコストを抑えるCAT純正部品

500時間

- エンジンオイル(CH-4)の交換
- エンジンオイルフィルタの交換
- 燃料フィルタの交換

1,000時間

- パイロットフィルタの交換
- ドレンフィルタの交換
- スイングドライブオイルの交換
- フロントリンケージの給脂(バケット回り除く)

2,000時間

- 作動油フィルタの交換
- ファイナルドライブオイルの交換

5,000時間

- 作動油の交換

*フィルタ、オイル等の交換間隔は作業条件により異なります。

メンテナンス必要時期には、フルグラフィックカラー
モニタに表示。キャブ内で容易にチェックできます。

ブーム/旋回ベアリングの リモート式集中給脂



ブーム
集中給脂



旋回ベアリング
集中給脂

キャブフロアの 清掃を容易化

フロアマットの端部を高くして
マット下への埃の侵入を防ぐと
同時に、水洗いもしやすくなりました。



給油回数を低減、大容量燃料タンク

長時間稼働が可能な大容量燃料タンクを搭載。
過酷な作業条件においても長時間の連続作業
が可能です。

燃料タンク容量
620ℓ

燃料レベルゲージは
フロート式で給油時
の確認が容易です。



リモート式ドレーン
を採用。水抜きを容
易にしました。



▶ 機械情報が常にあるという安心

遠隔での
車両管理をサポート

Product Link Japan

プロダクトリンクジャパン

建機遠隔稼働管理システム

Product Link Japan (プロダクトリンクジャパン)とは、車両の各種情報(位置/メンテナンス/警告等)を無線通信で送信することにより、遠隔地で車両管理を可能とするシステムです。

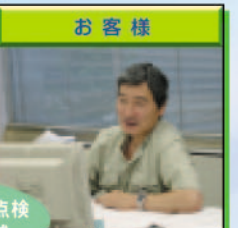


地上波無線で
車両の情報を送信



キャタピラージャパン

インターネット(パソコン・携帯電話)で、オフィスや外出先から車両の情報を手に入れることができます。



お客様

タイムリーな保守・点検
管理コストの削減

お客様の車両の状態を
常に把握しています。

車両の情報を
お客様と共有



各地区販売店

休車時間を低減する
迅速・的確なサービス

油圧ショベル本体に管理用コントローラ
と通信機器を標準装備しています。

使用している車両の機械情報をオフィス
でも外出先でも気軽に確認できます。

効率の良い車両の使用が可能となり、
機械コスト、メンテナンスコストが低減します。

稼働管理、資産管理、生産管理など幅広く
ご利用いただけます。

車両情報



車両の稼働状況が確認できることで
より正確なコスト管理が可能となります。

メンテナンス情報

項目	内容	備考
エンジンオイル	交換	500時間
エンジンオイルフィルタ	交換	500時間
燃料フィルタ	交換	500時間
パイロットフィルタ	交換	1,000時間
ドレンフィルタ	交換	1,000時間
スイングドライブオイル	交換	1,000時間
フロントリンケージ	給脂	2,000時間
作動油フィルタ	交換	2,000時間
ファイナルドライブオイル	交換	2,000時間
作動油	交換	5,000時間

オイルやフィルタ交換のタイミングを
知ることができます。

位置情報



お客様使用の車両がどこにあるのかを
地図上で確認することができます。

警告情報

項目	内容	備考
エンジンオイル	交換	500時間
エンジンオイルフィルタ	交換	500時間
燃料フィルタ	交換	500時間
パイロットフィルタ	交換	1,000時間
ドレンフィルタ	交換	1,000時間
スイングドライブオイル	交換	1,000時間
フロントリンケージ	給脂	2,000時間
作動油フィルタ	交換	2,000時間
ファイナルドライブオイル	交換	2,000時間
作動油	交換	5,000時間

車両が発する警告情報をまとめて確認
することができるため、故障を未然に
防ぐことにもつながります。

※実際の表示とは異なる場合があります。本システムは、地上波携帯電話の通信網を使用しているため、電波の届かない場所、電波の弱い所、通信のサービスエリア外では、ご利用できません。詳しくはお近くの販売店にお問合せ下さい。

さらに
プラスαの
安心を

メンテナンスはおまかせください! キャタピラージャパンのサポート契約

お客様のニーズに合った
契約をお選びください



定期点検契約

月例の機械点検と定期自主検査、またオイル分析を実施。

メンテナンス契約 定期点検、オイル交換やフィルタ交換を実施。

修理費保証付メンテナンス契約 メンテナンス契約に突発故障時の修理費保証をセット。

修理請負契約 点検、メンテナンス、修理等すべての内容をカバーしてランニングコストの定額化を実現。

サポート契約は、忙しいお客様に代わって、
当社のサービスマンが、有償で機械の点検・整備を行うシステムです。

オプション：特定自主検査(車検整備)、性能診断、フラッシング
サービスをご用意。

オフロードパック：オフロード法整備指針に基づき、点検・整備。
適用車両の新車性能を維持・管理します。

▶ 作業ニーズをとらえる専用設計

多彩な現場にマッチする
アプリケーション対応機

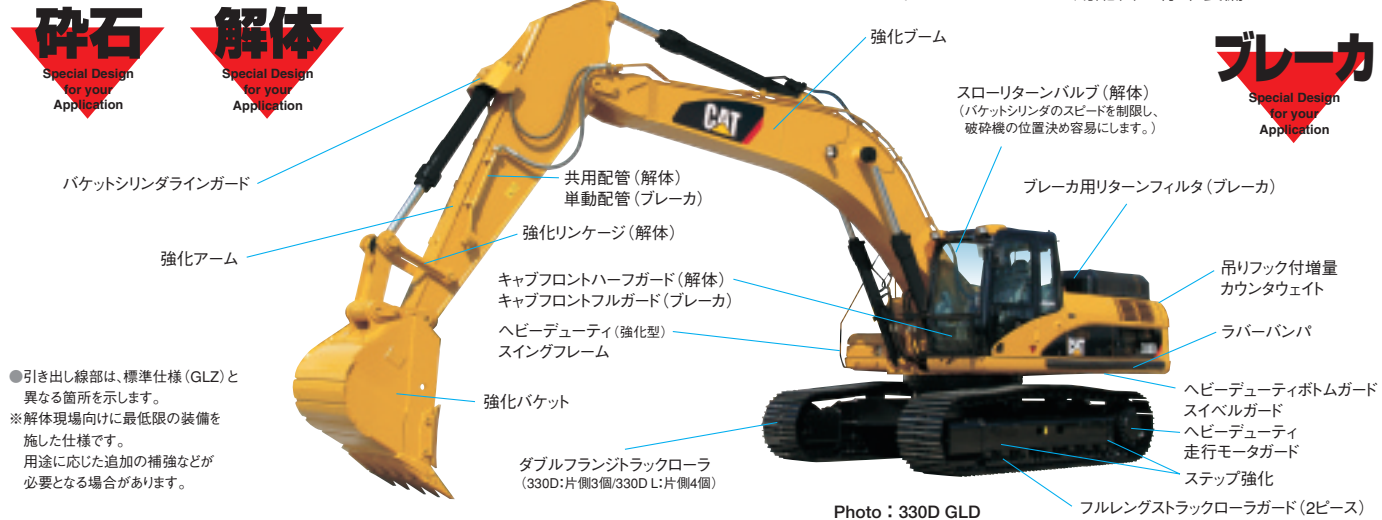
岩現場に 砕石仕様 (GLQ)

解体現場に 解体仕様※ (GLD)

岩現場での小割作業に ブレーカ仕様 (GMB)

CATの信頼性が細部に生きるヘビーデューティ設計。

砕石・解体仕様と同様の強固な機体に
ショートアーム・ブレーカ用配管を標準装備。



ビル解体現場に 超ロング解体仕様機

高層建築物の解体作業用に
開発された
超ロングフロント。
安全性と効率を
両立させ、さらに環境への
対応力を高めています。また、
掘削ブームをアタッチメント
として用意。高所の解体後、
フロントを交換しての基礎の
解体やガラ、残土の
積み込みなどにも使用できます。

解体
Special Design
for your
Application



■3段折れ超ロング解体仕様

- 最大作業高さ
22,050mm
- 最大作業高さ時半径
2,790mm
- 最大作業可能半径
11,000mm
(1,500kg 破砕機装着時)
10,500mm
(2,100kg 破砕機装着時)
10,000mm
(2,300kg 破砕機装着時)

※作業範囲はすべてアーム先端ピンまでのものです。

解体・金属リサイクルの現場に フォーク付マグネット仕様機

油圧発電方式 (1 エンジン式発電方法)
のフォーク付マグネットを装着。
さらに、油圧リンク式キャブライザ
(可動式ハイキャブ)
採用で広い作業視界を
実現しました。

金属リサイクル
Special Design
for your
Application



- マグネット外径 : **φ1,500mm**
- 吸着能力 : **900~1,200kg**
(1級スクラップ)
- キャブ上昇量 : **2,600mm**

高所から基礎構造物の解体まで 2ピースブーム解体仕様機

3~4階建てビルの解体が可能な
作業高さと標準機を越える
掘削深さを両立した
オールラウンドマシン。

- 最大作業高さ
12,520mm
- 最大掘削深さ
6,750mm
- 最大作業半径
11,480mm

※作業範囲はすべて
アーム先端ピンまでのものです。



※アプリケーション対応機の納期・仕様についてはお問い合わせ下さい。

■ 装備品

●:標準装備 ○:オプション ー:装着不可、または設定なし ●L:330D L

	仕様内訳	330D/330D L						
		GLZ 〈スタンダード〉		GLD 〈解体仕様〉	GLQ 〈砕石仕様〉	GMZ 〈スタンダード〉	GMB 〈ブレーカ仕様〉	MMZ 〈スタンダード〉
		T7	T6	T7	D6	T7	D6	T7
ブーム	6.5m Gブーム	●	●	—	—	●	—	—
	6.5m 強化型Gブーム	○	○	●	●	○	●	—
	6.2m Mブーム	—	—	—	—	—	—	●
アーム	3.2m アーム (Gブーム用)	●	●	—	—	—	—	—
	3.2m 強化型アーム (Gブーム用)	○	○	●	●	—	—	—
	2.8m アーム (Gブーム用)	—	—	—	—	●	—	—
	2.8m 強化型アーム (Gブーム用)	—	—	—	—	○	●	—
	2.6m アーム (Mブーム用)	—	—	—	—	—	—	●
バケットリンケージ	DBファミリーリンケージ	●	●	—	●	●	●	—
	DBファミリー強化型リンケージ	—	—	●	—	—	—	—
	TBファミリーリンケージ	—	—	—	—	—	—	●
標準バケット (ロングチップ、サイドカット付)	掘削バケット 1.4 (1.2) m ³ 1480mm幅 DBファミリー	●	●	○	○	○	○	—
	強化掘削バケット※3 1.4 (1.2) m ³ 1500mm幅 DBファミリー	○	○	●	●	○	○	—
	掘削バケット 1.5 (1.3) m ³ 1560mm幅 DBファミリー	●L	●L	○	○	●	○	—
	強化掘削バケット 1.5 (1.3) m ³ 1590mm幅 DBファミリー	○	○	○	○	○	●	—
	マス掘削バケット 1.6 (1.4) m ³ 1540mm幅 DBファミリー	○	○	○	○	●L	○	—
	掘削バケット 1.6 (1.5) m ³ 1390mm幅 TBファミリー	—	—	—	—	—	—	●
	掘削バケット 1.9 (1.6) m ³ 1590mm幅 TBファミリー	—	—	—	—	—	—	●L
足回り	600mm幅 トリブルグロースァシュー	○	●	○	○	○	○	○
	700mm幅 トリブルグロースァシュー	●	○	●	○	●	○	●
	800mm幅 トリブルグロースァシュー	○	○	○	○	○	○	○
	600mm幅 ダブルグロースァシュー	○	○	○	●	○	●	○
	700mm幅 ダブルグロースァシュー	○	○	○	○	○	○	○
	ワンタッチ開閉式フロントウインド	●	●	●	●	●	●	●
キャブ	サンシェード (レインプロテクタ) ※1	●	●	●	●	●	—	●
	KAB86/E4Pエアサスペンションシート (シートヒータ、ヘッドレスト付)	●	●	●	●	●	●	●
	KAB E1P ビニールシート	○	○	○	○	○	○	○
	自動選局AM/FMラジオ	●	●	●	●	●	●	●
	ラージボックスカバー	●	●	●	●	●	●	●
	キャブフロントフルガード (1ピース・ネットタイプ) ※1	○	○	○	○	○	●	○
	キャブフロントハーフガード (下側・ネットタイプ)	○	○	●	○	○	—	○
ガード	バケットシリンダラインガード	○	○	●	●	○	●	○
	ヘビーデューティガード※2	○	○	●	●	○	●	○
	フルレンジトラックローラガード (2ピース)	○	○	●	●	○	●	○
	ラバーバンパ	○	○	●	●	○	●	○
	単動/1ポンプ	○	○	○	○	○	●	○
	単動/2ポンプ	○	○	○	○	○	○	○
アタッチメント配管	共用/2ポンプ	○	○	●	○	○	○	○
	共用/2ポンプ+中圧低流量バルブ	○	○	○	○	○	○	○
	第3ポンプ対応	○	○	○	○	○	○	○
	ブーム/アーム配管 (高圧用)	○	○	●	○	○	●	○
	ブーム/アーム配管 (中圧用)	○	○	○	○	○	○	○
	ブーム/アーム配管 (ドレン用)	○	○	○	○	○	○	○
	ブレーカ専用リターンフィルタ	○	○	○	○	○	●	○
	ダブルフランジトラックローラ	—	—	●	●	—	●	—
その他装備	増量カウンタウェイト (吊りフック付)	—	—	●	●	—	●	—
	MSS (マシンセキュリティシステム)	○	○	○	○	○	○	○

※1:キャブフロントガードとサンシェードの同時装着はできません。 ※2:スィベルガード、強化型ボトムガード、強化型走行モータガードを含む。スィベルガードのみの装着も可能です。

※3:サイドプロテクタ付 バケット容量は新JIS表示、() 内は旧表示です。 納期、仕様等はお問い合わせください。

■ 全仕様標準装備品

油圧システム	安全装備	室内装備	その他装備
●スマートワークシステム ●バリアブルパワーモード (VPM) ●走行自動2速 ●ブーム/アーム自然降下防止弁 ●ブーム/アーム再生回路 ●旋回反転防止弁 ●オートマチックスイングブレーキ ●予備バルブ ●自動デセル ●ワンタッチローアイドル ●高性能カブセルフィルタ	●ヘッドガードキャブ ●後方脱出窓 ●ファイアウォール ●ラミネートフロントガラス ●巻込み式シートベルト ●油圧ロックレバー ●2ブリードトラックアジャスタ ●スタッドプレート (滑り止め) ●360度ファンガード ●リアビューミラー (左右) ●けん引フック ●緊急時ブーム降下装置 ●バックアップスイッチ ●エンジン非常停止スイッチ ●エンジンニュートラルスタート機構	●静電気帯電防止型シート ●新型フルグラフィックカラーモニタ ●油圧レベルオートチェック機能 ●スライライト (スライド式サンバイザ付) ●ピラマウントワイバ (2段間欠、ウォッシュ付) ●ロアワイバ (ウォッシュ付) ●ラージボックス ●書類入れ/マガジンラック ●ドリンクホルダ/小物入れ ●ルームライト/コートフック ●灰皿/シガライタ ●12V電源ソケット ●フロアマット ●フルオートエアコン (プレッシャライザ外気導入式、 頭寒足熱機能付) ●デフロスタ	●キャタピラワンキーシステム ●前照灯×5 (ブーム左右、本体、 キャブ (残光機能付) ×2) ●ウォータセパレータ ●ダブルエレメントエアクリーナ (ラジアルシールエアフィルタ/ インジケータ付) ●大型ソールボックス ●ウェーブフィンラジエータ ●グリシガンホルダ ●工具一式 ●プロダクトリンクジャパン

■ 主なオプション

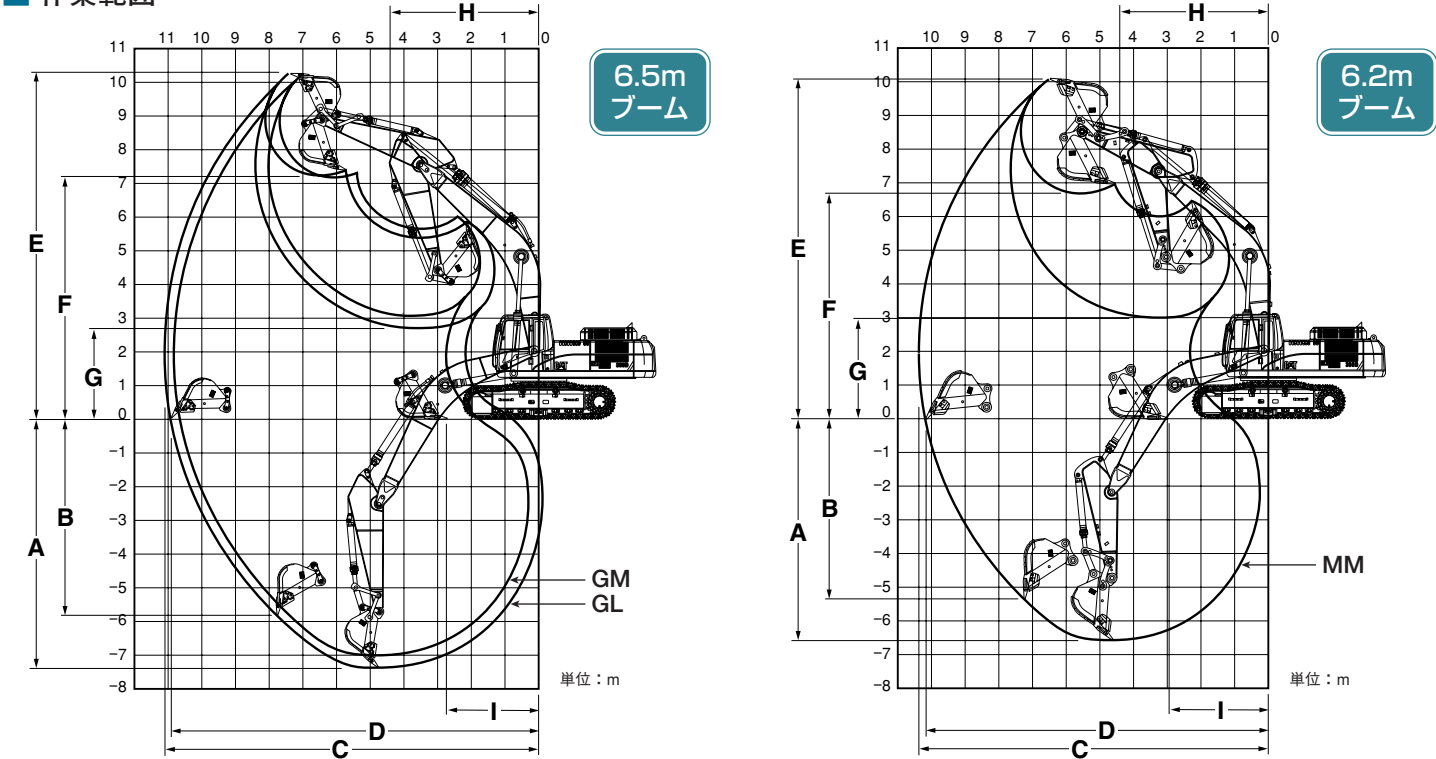
- 3.9m アーム (Gブーム用、DBファミリー)
- 2.2m アーム (Gブーム用、TBファミリー)
- 2.2m アーム (Mブーム用、TBファミリー)
- サンバイザ
- 4WAYコントロールパターンチェンジャ
- トラベルアラーム
- 32W作動油
- 寒冷地仕様 (−32°C)
- 各種バケット (別項参照)
- キャブトップガード
(ISO-10262、FOGS準拠)
- キャブフロントガード
(ISO-10262、FOGS準拠)

■ 運転質量／バケット容量／掘削力／寸法／接地圧

仕 様		330D / 330D L							
		GLZ 〈スタンダード〉		GLD 〈解体仕様〉	GLQ 〈砕石仕様〉	GMZ 〈スタンダード〉	GMB 〈ブレーカ仕様〉	MMZ 〈スタンダード〉	
		T7	T6	T7	D6	T7	D6	T7	
運 転 質 量 kg		33,500 [34,500]		33,200 [34,100]	35,600 [36,600]	35,300 [36,200]	33,500 [34,400]	35,300 [36,200]	33,900 [35,000]
バケット容量 新JIS (旧JIS) m ³		1.4 (1.2) [1.5 (1.3)]		1.4 (1.2)	1.4 (1.2)	1.5 (1.3) [1.6 (1.4)]	1.5 (1.3)	1.6 (1.4) [1.9 (1.7)]	
新掘削力	ア ー ム kN(tonf)	169 (17.3)				188 (19.2)		192 (19.6)	
	バ ケ ッ ト kN(tonf)	222 (22.7)				222 (22.7)		264 (26.9)	
寸	全 長 (輸送姿勢時) mm	11,150				11,200		10,840	
	全 幅 (トラック全幅) mm	3,290	3,190	3,290	3,190	3,290	3,190	3,290	
	上部旋回体全幅 (ミラー含む) mm	3,370							
	全 高 (ブーム上端/輸送姿勢時) mm	3,350					3,590	3,490	
	ト ラ ッ ク 全 長 mm	4,590 [5,030]							
	履 帯 中 心 距 離 mm	2,590							
法	タンブラ中心距離 mm	3,610 [4,040]							
	最低地上高 (ラグ高さ含まず) mm	480							
	後 端 旋 回 半 径 mm	3,500							
足回り	シ ュ ー 幅 * mm	700TG	600TG	700TG	600DG	700TG	600DG	700TG	
	接 地 圧 kPa(kgf/cm ²)	59 (0.61) [55 (0.50)]	69 (0.70) [64 (0.65)]	63 (0.64) [58 (0.60)]	73 (0.74) [67 (0.69)]	59 (0.60) [55 (0.56)]	73 (0.74) [67 (0.69)]	60 (0.61) [56 (0.57)]	

単位は国際単位系によるSI単位表示です。()内は従来の単位表示による参考値です。 []内は330D L ※ TG:トリプルグローサシュ어 DG:ダブルグローサシュ어

■ 作業範囲



6.5m ブーム

アーム長さ m	GLZ 〈スタンダード〉	GLQ/GLD 〈砕石/解体仕様〉	GMZ 〈スタンダード〉	GMB 〈ブレーカ仕様〉
	3.2mアーム		2.8mアーム	
A 最大掘削深さ	7,390	7,420	6,990	7,020
B 最大垂直掘削深さ	5,830	5,860	5,770	5,800
C 最大掘削半径	11,110	11,150	10,810	10,860
D 最大床面掘削半径	10,920	10,960	10,620	10,660
E 最大掘削高さ	10,240	10,260	10,300	10,320
F 最大ダンプ高さ	7,200	7,160	7,200	7,160
G 最小ダンプ高さ	2,710	2,660	3,110	3,060
H フロント最小旋回半径	4,450	4,450	4,470	4,470
I 床面仕上最小半径	2,750	2,780	3,320	3,260

装着バケットにより仕様値が若干異なる場合があります。 単位:mm

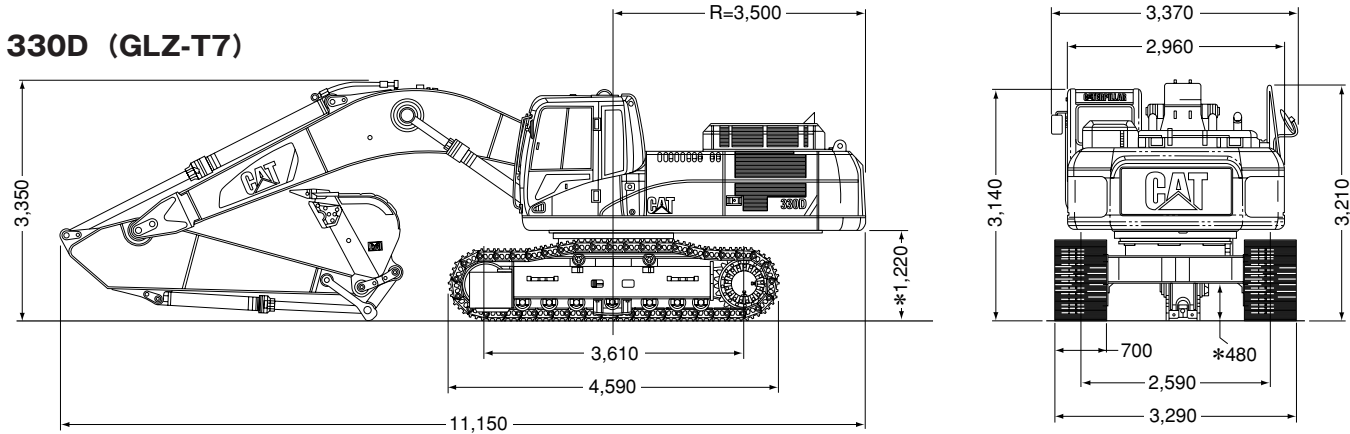
6.2m ブーム

アーム長さ m	MMZ 〈スタンダード〉
	2.6mアーム
A 最大掘削深さ	6,570
B 最大垂直掘削深さ	5,340
C 最大掘削半径	10,390
D 最大床面掘削半径	10,180
E 最大掘削高さ	10,070
F 最大ダンプ高さ	6,690
G 最小ダンプ高さ	3,000
H フロント最小旋回半径	4,370
I 床面仕上最小半径	2,970

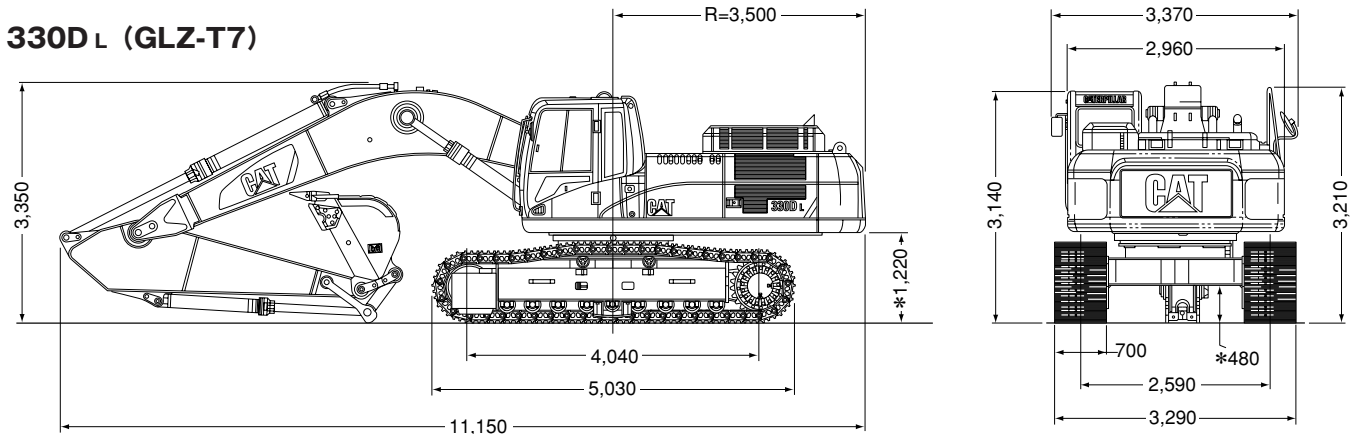
装着バケットにより仕様値が若干異なる場合があります。 単位:mm

■ 外形図 [単位: mm *ラグ高さ含まず]

330D (GLZ-T7)



330D L (GLZ-T7)

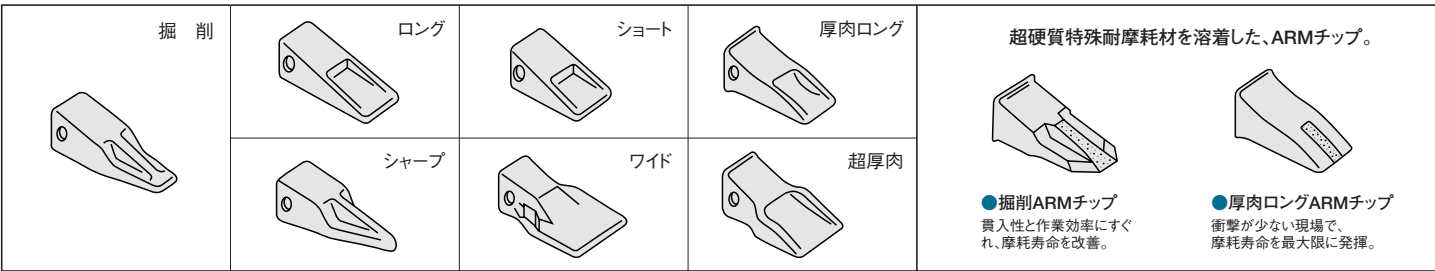


■ バケット種類／適用フロント

			掘 削				強化掘削		マス掘削		
バケット容量 新JIS (旧JIS) m ³		山 積 平 積	1.4 (1.2)	1.5 (1.3)	1.6 (1.5)	1.9 (1.6)	1.4 (1.2)	1.5 (1.3)	1.6 (1.4)	1.9 (1.6)	2.0 (1.7)
			1.1	1.1	1.2	1.4	1.1	1.1	1.2	1.4	1.5
最大外幅 (サイドカッタ装着)		mm	1,475	1,560	1,390	1,590	1,500	1,590	1,540	1,780	1,630
バケット質量		kg	1,130	1,170	1,410	1,550	1,310	1,360	1,220	1,340	1,590
ツース本数			5	5	5	5	5	5	6	6	6
バケットファミリー			DB	DB	TB	TB	DB	DB	DB	DB	TB
330D	6.5m ブーム	3.9mアーム	×	×	—	—	×	×	×	×	—
		3.2mアーム	◎	○	—	—	○	○	×	×	—
		3.2m強化型アーム	○	○	—	—	◎	○	×	×	—
		2.8mアーム	○	◎	—	—	○	○	○	×	—
		2.8m強化型アーム	○	○	—	—	○	◎	○	×	—
		2.2mアーム	—	—	○	○	—	—	—	—	×
	6.2m ブーム	2.6mアーム	—	—	◎	○	—	—	—	—	×
		2.2mアーム	—	—	○	○	—	—	—	—	×
330D _L	6.5m ブーム	3.9mアーム	×	×	—	—	×	×	×	×	—
		3.2mアーム	○	◎	—	—	○	○	×	×	—
		3.2m強化型アーム	○	○	—	—	◎	○	×	×	—
		2.8mアーム	○	○	—	—	○	○	◎	×	—
		2.8m強化型アーム	○	○	—	—	○	◎	○	×	—
		2.2mアーム	—	—	○	○	—	—	—	—	○
	6.2m ブーム	2.6mアーム	—	—	○	◎	—	—	—	—	○
		2.2mアーム	—	—	○	○	—	—	—	—	×

◎標準バケット ○装着可能 ×使用注意 —装着不可

■ チップ種類



■ 主要諸元 (GLZ-T7)

機 種	330D	330DL
運転質量 kg	33,500	34,500
標準バケット容量 m ³	1.4 (1.2)	1.5 (1.3)
掘削力	アーム kN (tonf)	169 (17.3)
	バケット kN (tonf)	222 (22.7)
寸 法	全 長 mm	11,150
	全 幅 mm	3,290
	全 高 mm	3,350
	標準シュー幅 mm	700
旋回速度 min ⁻¹ (rpm)	9.6 (9.6)	
走行速度 km/h	5.0 (高速) , 3.3 (低速)	
登坂能力 % (度)	70 (35)	
接地圧 kPa (kgf/cm ²)	59 (0.61)	55 (0.56)
エ ン ジ ン	名 称	CAT JDS-C9 ディーゼルエンジン [ACERT]
	形 式	4サイクル水冷直列直噴式、ターボチャージャー、アフタークーラ付
油 圧 機 器	総行程容量 l	8.8
	定格出力 kW (PS) / 回転数 min ⁻¹ (rpm)	200 (272) / 1,800 (1,800)
油 圧 機 器	ポンプ形式	可変容量ピストン×2
	旋回モータ形式	定容量ピストン×1
	旋回ブレーキ形式	油圧ブレーキバルブ
	走行モータ形式	可変容量ピストン×2
	走行ブレーキ形式	油圧ブレーキバルブ
	リリーフバルブ設定圧 kPa (kgf/cm ²)	35,000 (357) (作業機、走行)
容 量	燃料タンク (軽油) l	620
	ハイドロリックオイル l	410 (全量)
	オイルパン l	35.5
	冷却水 l	40 (リザーバタンク1.5l含)

単位は国際単位系によるSI単位です。またバケット容量と掘削力は新JIS表示です。
() 内は旧表示を併記したものです。

キャタピラー・ジャパン株式会社

本社 (代表) 東京都世田谷区用賀4丁目10番1号 〒158-8530 TEL.03-5717-1121
(カタログお問い合わせ先) TEL.042-764-8730
HP <http://japan.cat.com/>

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械 (整地・運搬・積込・掘削用) および (解体用) の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

CATERPILLAR (キャタピラー) 、CAT及びACERTはCaterpillar Inc. の登録商標です。

掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械から離れる場合は必ず作業装置を接地させてください。
掲載写真は標準仕様と一部異なる場合があります。また仕様は予告なく変更することがあります。



本機をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
故障や事故などを防止する為、定期点検を必ず行ってください。

お問い合わせ先

